

## ヨハネ 3 ・ 黙想質問

生まれ変わらなければならない - ヨハネ 3 : 1-12 (イエスはニコデモと話された。)

1 さて、パリサイ人の中にニコデモという人がいた。ユダヤ人の指導者であった。2 この人が、夜、イエスのもとに来て言った。「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられるのでなければ、あなたがなさるこのようなしるしは、だれも行うことができません。」

ニコデモは、イエスについてどう考えていたのか。 (1-2)

3 イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

4 ニコデモは言った。「人は、老年になっていて、どのようにして生まれることができるのですか。もう一度、母の胎に入って生まれることができますでしょうか。」

5 イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることができません。6 肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。7 あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。8 風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。」

「新しく生まれる」とはどういうことですか。 御霊によって生まれることが、どのように風のようなのでしょうか。 (3-8)

9 ニコデモは答えて言った。「どうして、そのようなことがありうるのでしょうか。」 10 イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こういうことがわからないのですか。 11 まことに、まことに、あなたに告げます。わたしたちは、知っていることを話し、見たことをあかししているのに、あなたがたは、わたしたちのあかしを受け入れません。 12 あなたがたは、わたしが地上のことを話したとき、信じないくらいなら、天上のことを話したとて、どうして信じるでしょう。 13 だれも天に上った者はいません。しかし天から下った者はいます。すなわち人の子です。」

ユダヤ教の教師であり指導者であったニコデモが、イエスの言葉を理解するのが難しかったのはなぜですか。 (9-13)

## 神は世を愛しておられる - ヨハネ 3:13-21

14 モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。15 それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」

ヨハネがどうしてイエスはモーセが砂漠で持ち上げた蛇のようだ、と言ったのでしょうか。（民数記 21:4-9 を読んでください）。

16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネによる福音書 3 章 16 節を知らない友だちに話すつもりで、神様の世に対する愛を、自分の言葉で説明してください。神様に愛されていると確信できる理由を述べてください。

17 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

18 御子を信じる者はさばかれない。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったので、すでにさばかれている。

キリストのうちにある人には、なぜ罪がないのかを説明して書いてください。(17-18)

19 そのさばきというのは、こうである。光が世に来ているのに、人々は光よりもやみを愛した。その行いが悪かったからである。20 悪いことをする者は光を憎み、その行いが明るみに出されることを恐れて、光のほうに来ない。21 しかし、真理を行う者は、光のほうに来る。その行いが神にあってなされたことが明らかにされるためである。

この聖句によると、なぜ人は裁かれたり裁かれなかったりするのですか？(19-21)

## イエスについて語る - ヨハネ 3:22-36

22 その後、イエスは弟子たちと、ユダヤの地に行き、彼らとともにそこに滞在して、バプテスマを授けておられた。23 一方ヨハネもサリムに近いアイノンでバプテスマを授けていた。そこには水が多かったからである。人々は次々にやって来て、バプテスマを受けていた。24 - - ヨハネは、まだ投獄されていなかったからである - - 25 それで、ヨハネの弟子たちが、あるユダヤ人ときよめについて論議した。26 彼らはヨハネのところに来て言った。「先生。見てください。ヨルダンの向こう岸であなたといっしょにいて、あなたが証言なさったあの方が、バプテスマを授けておられます。そして、みなあの方のほうへ行きます。」

バプテスマのヨハネの弟子たちが、ヨハネに尋ねた質問を要約してください。(22-26)

27 ヨハネは答えて言った。「人は、天から与えられるのでなければ、何も受けることはできません。28 あなたがたこそ、『私はキリストではなく、その前に遣わされた者である』と私が言ったことの証人です。29 花嫁を迎える者は花婿です。そこにいて、花婿のことばに耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。それで、私もその喜びで満たされているのです。30 あの方は盛んになり私は衰えなければなりません。」

イエスに対するヨハネの視点と態度はどのようなものでしたか。(27-30)

31 上から来る方は、すべてのものの上におられ、地から出る者は地に属し、地のことばを話す。天から来る方は、すべてのものの上におられる。32 この方は見たこと、また聞いたことをあかしされるが、だれもそのあかしを受け入れない。33 そのあかしを受け入れた者は、神は真実であるということに確認の印を押したのである。34 神がお遣わしになった方は、神のことばを話される。神が御霊を無限に与えられるからである。35 父は御子を愛しておられ、万物を御子の手にお渡しになった。36 御子を信じる者は永遠のいのちを持つが、御子に聞き従わない者は、いのちを見ることなく、神の怒りがその上にとどまる。

31-35 節では、父、子、聖霊の関係についてどのように言っていますか？